



あみいこ参加者【千葉センター】
あみいこ参加でひろがる世界

2011年秋から始まったあみいこ教室。西村憲一さんは好奇心旺盛な方で、「デジカメ教室」をきっかけに「男の料理教室」「ヨガ教室」「健康麻雀教室」「お点前教室」などに参加し、趣味を広げ、新しい仲間と楽しい時間を過ごしています。健康麻雀教室ではボランティアでインストラクターも務めています。

Q. あみいこ教室に参加したきっかけは？

2011年に友人から「あみいこデジカメ教室」への誘いを受けて参加しました。デジカメはただシャッターを押すだけでしたが、「人物写真はレポート写真にならないように中心を少しずらす」「人物を撮るときはシャッターを押す前に“ひと声掛ける”」「ピントを合わせた後“上下左右にずらして”構図を整える」など、今まで考えたこともない写真テクニックを教わり、自分の撮る写真が少しずつ変わっていくのが楽しみでした。その後、次々に新しい教室へ声を掛けられ、いろいろな教室に参加してきました。

Q. あみいこ教室に参加していかがですか？

自分からは興味すら持てなかったジャンルの教室に参加することで、地域の方々と知り合いになり、自分が少しずつ変わってきたと実感しています。

特に「お点前教室」は、大人の日本人として知っておくべき常識としての作法を教えていただくことができ、もっと早くから教わっていたら、サラリーマン時代に海外の方に日本のことをもっと自信を持って話せたのと思います。

「お点前」は現在最も熱心にやっているオケイコです。自分でお茶を立てることの楽しさ、難しさ、作法を皆さんの前でやる時の緊張感、すべてが今までに



ない刺激です。また、毎回おいしいお菓子をいただくことも楽しみです。教室として年に一度くらい地域に出向き、子どもたちやお年寄りにお茶やお菓子をふるまい、お点前の作法を教えるながら楽しい時間を過ごすこともあります。この時は、普通の稽古と違った緊張感があり、これもまたいいものだなと皆で話します。

Q. 健康麻雀教室のインストラクターとしての感想は？

参加者が毎回元気に参加して下さることが、インストラクターとしては何よりの喜びとなっています。毎週教室に来るのが楽しみだと言われ、麻雀牌をまぜながら一週間のできごとを聞くことで、皆さんの健康状態を知ることができ、良い集まりに参加しているなと思っています。



▲西村憲一さん



各センターで人材大募集！
あなたの魅力を貸してください。

ポ ボランティア 参 参加者 仕 仕事 場 場所利用

【八街センター】 Tel 043-440-0181

- ・買い物バス
- ・風の杜ひろば
- ・子育てサロン
- ・喫茶アルルカン
- ・風のロτζジ
- ポ 運転手
- ポ 草取り
- ポ 参 運営スタッフ
- 仕 スタッフ
- 場 活動グループ

【柏センター】 Tel 04-7170-0939

- ・ふれあい健康麻雀教室
- ・生活支援サービス
- 参 参加者
- 仕 ケア者

【千葉センター】 Tel 043-290-8017

- ・地域食堂
- ・こどもカフェ
- ・生活支援サービス
- ・あみいこ
- ポ 参 調理や運営スタッフ
- ポ 運営スタッフ
- 仕 ケア者
- ポ 麻雀インストラクター
- 参 講座参加

各センターにお問い合わせください

お知らせ

- ◆子どもの居場所・食堂「くれよん」 生活クラブ風の村光ヶ丘よってって 毎月第3土曜日 10:30 までに来てね！【予約不要 04-7170-0939 小口】
- ◆地域食堂「みんなのテーブル」 いなげピレツジ地域活動スペース虹 毎月第2金曜日 17:00~18:30 【要予約 043-290-8017 北田】



2023.6.18 第15回通常総会開催報告

理事長が交代し、新体制でスタート！

コロナが5類感染症となり、人びとの動きも再開される中、街ねつとの総会もリアル開催されました。久しぶりに顔を合わせての総会です。

第5次中期計画を含む全議案が可決され、理事長、副理事長の交代もありました。これまで理事長を務めた岩上章子は退任し、飯島晃子が理事長となります。副理事長には廣島紀子が就任しました。新たな体制となった街ねつとに、より一層のご支援をお願いいたします。

団体立ち上げから尽力された佐々部憲子さんが理事を退任しました。お疲れまでした。



▲岩上前理事長(左)と飯島新理事長(右) 岩上さんは今後も理事として運営に参加します。

コロナ禍を経ての地域づくり

第4次中期計画の期間はコロナ禍とびつたり重なり、人と人とのつながりの大切さを実感させられた3年間でした。活動自粛を求められた困難な時期でも、オンラインを利用するなど工夫しながら事業を継続し、安定した経営を行うことができました。ご支援、ご協力いただいたみなさまに感謝申し上げます。

あみいこや地域食堂など地域交流事業が再開し、以前の活気をとり戻りつつあります。最近では地域のために何かしたい、ボランティアを通して社会参加したいという声も増えています。コロナ禍を経て格差の問題や、生きづ

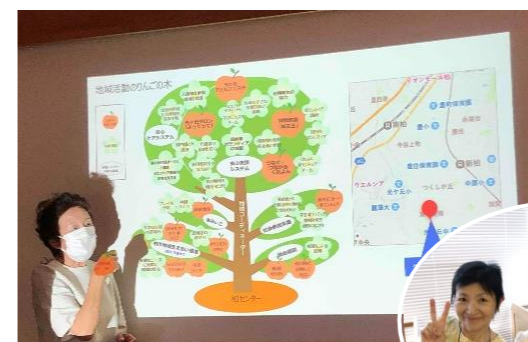
らさを抱える人の存在が、より目に見えるものになり、自分にも何かできるのではないかと考える方が増えたのかも知れません。

街ねつとの目的は「誰もが自分らしく安心して暮らせる地域」を協同してつくることです。多世代交流できる居場所づくりも、支え支え合う地域づくりも、そこに暮らす人の活躍なくては実現できません。第5次中期計画*にあるように、住み慣れた地域で暮らし続けるための小さな取り組みを、これからも地域のみなさんと一緒につくりだしていきたいと思っています。

*第5次中期計画はこちらからご覧になれます



地域づくりの「リンゴの木」を更新



八街、柏、千葉センターでの地域づくりについて、各センターの地域コーディネーターから事例報告がありました。2019年度の総会で地域づくりの様子をリンゴの木に表現してから、さらに新たな取り組みや成果が加わりました。リンゴの木の実は変化、進化し続けています。

詳しくはこちらからご覧いただけます



◀地域コーディネーター3人衆



特定非営利活動法人(認定NPO法人)
コミュニティア街ねつと
【発行責任者：飯島 晃子】

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7
【Tel】043-290-8015 【Fax】043-290-8016
【E-mail】info@ccmachinet.jp
【URL】https://www.ccmachinet.com
2023年7月発行



